

完全オリジナル開発の医療動画・スライド 2,100 点収録 理解しやすい実践的患者説明用 PC ツール『メディタッチ』を新発売 ～1ヶ月無料お試しキャンペーンもスタート～

株式会社メディアコンテンツファクトリー(本社:福岡県福岡市、代表取締役:毛塚 牧人)は2013年3月1日、完全オリジナル開発の医療動画・スライド 2100 点以上を収録した患者説明ツール『メディタッチ』の PC 版を新発売いたします。メディタッチはコンテンツを見せながら患者説明をすることでインフォームドコンセントの質を高めるツールで、これまで iPad 版を販売しておりますが、今回新たに PC 版がラインナップに加わります。また、PC 版の新発売に合わせて、メディタッチを 1ヶ月無料でお試しいただけるキャンペーンも開始いたします。



メディタッチ PC 版の使用風景



コンテンツ表示画面(動画)

■ 全ての動画・スライドをオリジナル開発

「本当に実践的な患者説明ツール」を目指して、2,100 点以上におよぶ動画・スライドコンテンツは全てメディアコンテンツファクトリーが独自に開発。医師やコメディカルが使いやすく、かつ患者が理解しやすいように、1つの動画・スライドごとに説明ポイントを絞りつつ CG やイラスト、症例写真などが盛り込まれたコンテンツとなっております。また、コンテンツは順次追加・修正されますので、いつでも最新の情報を使うことができます。

既存の医療コンテンツソフトでは、パンフレットのスキニング画像等を転用したものや、医療従事者向けの資料が多く、「内容が専門的過ぎる」、「1スライドの文字数が多い」などの問題が指摘されたり、コンテンツの更新が容易でなかったりといった点が課題でしたが、『メディタッチ』はこれらを払拭したツールとなっております。

■ 各科目・各分野の専門医師が監修

現在のコンテンツ群は、代謝・内分泌・消化器・循環器・小児科・眼科・検査関連を中心に収録。全て各分野専門の医師が監修しています。

■ 1ヶ月間の無料お試しキャンペーンをスタート

『メディタッチ』PC 版の販売開始と同時に、1ヶ月間の無料お試しキャンペーンをスタート。簡単な登録で、製品版と同様の『メディタッチ』(iPad 版・PC 版)を 1ヶ月間無料で体験していただくことができます。

○ キャンペーン URL : <http://www.media-cf.co.jp/meditouch/onemonthfree.html>

■ 開発は医療コンテンツ制作 15年の実績を持つメディアコンテンツファクトリー

『メディタッチ』は、医療機関待合室向けデジタルサイネージ「メディキスター」を15年にわたって運営するメディアコンテンツファクトリーが開発。メディアコンテンツファクトリーは、サービス利用ユーザーの依頼コンテンツを月2,500本以上制作、患者向け医療関連コンテンツ1,500本以上を保有しております。

■ メディタッチについて



『メディタッチ』は iPad と PC で利用可能な、「インフォームドコンセントの質向上」を目的とした患者説明用コンテンツ閲覧ツールです。システム・コンテンツは独自開発を行い、使いやすさを追求したユーザーインターフェースと動画・イラスト・症例写真を駆使した2,100を超えるコンテンツを有しております。カテゴリ検索やキーワード検索、お気に入り機能、印刷機能など、患者説明ツールとして必要な機能も搭載しております。

現在、iPad版のみで30施設以上の病院・クリニックが利用中です。

※利用ユーザーインタビュー資料を添付しております。

<現在の主なコンテンツ(約2,100点)>

代謝・内分泌／消化器／循環器／小児科／眼科／検査関連

<今後の開発予定>

- 2013年3月 循環器(虚血性心疾患・不整脈)スライド・動画
- 2013年5月 皮膚科(症例写真・病状説明)スライド
- 2013年6月 産婦人科(患者学習)スライド
- その他含め、毎月約100~200点追加予定

● メディタッチ PC版 料金

【Web利用Ver.】月額3,000円～

【院内利用Ver.(院内サーバー利用)】月額5,000円～／初期費用300,000円～

● 2013年『メディタッチ』展示会出展予定

3月15日～3月17日 第77回 日本循環器学会 / 4月12日～14日 第110回 日本内科学会

4月19日～21日 第116回 日本小児科学会 / 5月16日～18日 第56回 日本糖尿病学会

6月14日～16日 第112回 日本皮膚科学会 / 8月31日～9月1日 第23回 日本外来小児科学会

● メディアコンテンツファクトリーについて

1998年の創業より医療機関に特化したデジタルサイネージシステム「メディキスター」を全国展開。現在は800施設以上の医療機関にコンテンツ制作・医療番組配信サービスを提供しています。

【企業サイト】<http://www.mediacontentsfactory.com/>

【医療機関向けサイト】<http://www.media-cf.co.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社メディアコンテンツファクトリー 販促・広報担当: 三角(ミスミ)

TEL : 092-471-3555 FAX : 092-471-3556 E-mail : misumi@media-cf.co.jp

■ メディタッチ ユーザーインタビュー(福島県 小川医院 今田医師)

—メディタッチを利用してみて、まずは感想をお聞かせください。

わくわくしますね。思ったほど面倒でなく、楽しく使えるツールです。患者さんへの説明ツールとしてちょっと自慢げに使っています。今後コンテンツがさらに増えていくと、もっと良くなりそうだと感じています。

—どのようなシーン(具体的な疾患名等)で利用していますか。もしくは利用したいと思っていますか。

糖尿病の説明に使っています。患者さんの病気に対する理解度向上や、治療についての同意・協力が必要な病気の説明には有効だと思いますね。今後、うつでかかる患者さんの問診にメディタッチが使えるようになると、紙で行うより気が重くならないと思います。



—患者さんの反応はいかがでしょう。

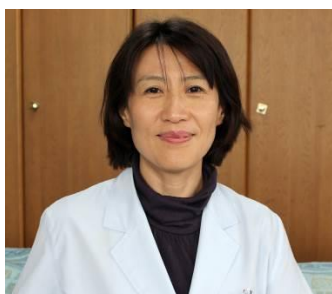
患者さんは珍しがっていますね。口頭のみでの説明より理解してくれている人もいます。

—メディタッチを使って患者説明をすることで、医療機関側にどのようなメリットがあるでしょうか。

メディタッチを使って診療時に丁寧な説明をしていると、説明の内容を患者さんに印象づけることができると思います。また、紙がいらないこともメリットですね。

—今後、どのようなコンテンツを増やして欲しいですか。

医療辞典などが入っているといいですね。あまり慣れていない症例の診断基準があれば確かめやすいですし、内科は多様な病気の患者さんが来られますので。また、漢方処方コンテンツがあると不定愁訴の患者さんに有効だと思います。口頭説明だけだときちんと飲んでくれないことが多いのですが、漢方薬の写真が載っている本などを使って説明すると、理解して飲んでもらえて症状が改善されることもありますので。



■ 今田かおる医師 プロフィール

在宅支援診療所 小川医院理事

総合内科医 在宅緩和ケア医

高齢者医療・在宅診療を中心に、原発避難者の支援、医療相談、反原発を理解してもらうための講演会活動も行う。

■ 略歴

昭和 62 年 杏林大学医学部卒業

昭和 62 年 山形県立中央病院 内科、外科、麻酔科

平成 3 年～現在 猪苗代町小川医院 内科

平成 12 年 猪苗代町マリアクリニック院長

平成 16 年 介護老人保健施設「ケアテル猪苗代」立ち上げ

平成 17 年 訪問看護ステーション「敬愛」立ち上げ

平成 18 年 介護老人福祉施設「いなわしろホーム」嘱託医

平成 23 年 3 月 11 日以降 震災避難者等に医療支援